

高校生 13 人が 1 日看護師体験 城西病院インターンシップ

高校生を対象にした城西病院のインターンシップが7月25日に開かれました。インターンシップには、鬼怒商業高と結城一高の1年生から3年生の13人が参加し、病院を見学したり、看護師の仕事の一端を体験しました。

開始のオリエンテーションは、城西病院が開院して以来続けている公益財団法人「茨城国際親善厚生財団（IIFP）」による国際医療支援の活動などを紹介。引き続き城西病院看護部の姿を説明してから、一般内科、外科系病棟、療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟に分かれ看護師体験。午後は、手術室や救急処置室、外来、透析センターなどを見学しました。

看護師体験では、血圧測定や車いす・ストレッチャー体験、病棟の設備などの説明、入院患者さまとのコミュニケーションなどを体験しました。手術室では手術台や手術に入る前の手洗いなどを実際に使い、手術室にある機材器具などについて質問をしていました。

インターンシップの最後は、先輩の看護師を交えて懇談。生徒たちのほとんどは看護師志望で、先輩看護師に看護学生の時の様子やどんな学校があるのか、看護師になる勉強法、学校による違いなど熱心に質問していました。

平成30年7月26日

